

多文化社会実践研究・全国フォーラム (第5回) 多文化共生社会に求められる専門人材像～東日本大震災から学ぶ～

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>

未曾有の被害をもたらした2011年3月11日の東日本大震災。日本に暮らす外国人はどのような状況に置かれ、どのような支援がなされたのでしょうか。東北3県における外国人支援の状況や、本センターで取り組んだ支援活動を紹介する中から、多文化社会の担い手としての専門人材のあり様、および大学における専門人材養成の意義について議論します。

日時

2011年11月26日(土) 10:00-16:00
懇親会 16:30-18:00
27日(日) 10:00-17:10

会場

東京外国語大学 府中キャンパス
(西武多摩川線 多磨駅徒歩5分)
入場無料(懇親会のみ3,000円)

プログラム

2011年11月26日(土)

- 10:00 ■挨拶 青山 亨(多言語・多文化教育研究センター長
/同学総合国際学研究院教授)
- 10:00 ■基調講演&パネルトーク
多文化社会と専門職教育
～本学だからこそその専門職教育のあり方を探る～
・基調講演 亀山 郁夫(東京外国語大学長)
・パネルトーク
パネリスト
佐藤 郡衛(東京学芸大学副学長)
関 百合子(文部科学省初等中等教育局国際教育課課長補佐)
青山 亨
コーディネーター
受田 宏之(同学総合国際学研究院准教授)
- 12:20 ■ランチタイムセッション(交流のためのラウンドテーブル)
自由な情報交換や、テーマを設定してのグループディスカッションなど
- 13:00 ■パネルディスカッションⅠ
東日本大震災―その時、現場で何が起こったか
～「多文化共生」の行方～
パネリスト
宮 順子(公益財団法人岩手県国際交流協会主幹)
大村 昌枝(財団法人宮城県国際交流協会参事兼企画事業課長)
幕田 順子(公益財団法人福島県国際交流協会主任主査)
劉 朝綱(仙台市在任会社員)
コメンテーター
近藤 敦(名城大学法学部教授)
コーディネーター
杉澤 経子(同センタープロジェクトコーディネーター)
- 16:30 ■懇親会
(大学会館2階特別食堂)

11月27日(日)

- 10:00 ■パネルディスカッションⅡ
多言語対応の必要性和コミュニティ通訳の役割
～司法通訳および東日本大震災における翻訳・通訳の
実践事例から～
パネリスト
関 聡介(成蹊大学法科大学院客員教授/弁護士)
内藤 稔(同センター特任講師)
佐藤エバートン文雄(コミュニティ通訳コース修了者/
長浜市企画部国際交流員)
コーディネーター
武田 千香(同センター副センター長/同学総合国際
学研究院准教授)
- 13:00 ■研究発表セッション(個人/グループ発表)
日本の多言語・多文化化の問題に取り組んでいる研究者
および実践者(自治体、国際交流協会、NPO等の職員等)
による発表(発表者・発表内容はセンターHP参照)
- 15:10 ■パネルディスカッションⅢ
「多様性」への対応
～「協働」を創り出す人材の必要性和そのあり方～
パネリスト
梅澤 敦(内閣府定住外国人施策推進室参事官)
小松 弥生(文化庁文化部長)
妻鹿 ふみ子(東海大学健康科学部教授)
コメンテーター
山西 優二(同学特任研究員/早稲田大学文学学術院教授)
コーディネーター
伊東 祐郎(同学留学生日本語教育センター長)

■申込方法

本センターHPからお申込みください(定員 各日先着300人)。

■主催・問い合わせ

東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター
<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>
(「多言語・多文化教育」で検索)
TEL: 042-330-5441 FAX: 042-330-5448
E-mail: tc-zenkoku@tufs.ac.jp